

平成28年度各郡市の研究活動報告（三条市）

会長 島岡浩二
副会長 南雲正紀
評議員 島岡浩二

1 研究活動の方針

(1) 子どもや時代の課題から

子どもに身に付けさせたい力を教育実践を通して明らかにし、共同研究に努める会員がそれを実現していく。

(2) 地域の特性から

「ものづくりのまち三条」の旗のもと、次代を担う子どもへの期待はすこぶる大きい。9年目を迎える小中一貫教育を手掛かりとして、「生きる力」を育む教育の進展に寄与する。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について（規約より）

第5条(会員) この会は三条市立小学校及び県立月ヶ岡特別支援学校小学部に勤務する教職員を以て組織する。

第6条(役員 ※任務記載略) この会は次の役員を設ける。会長 副会長 審議委員(教科等部顧問,部長) 各研究部会正副部長 会計監査 幹事

(2) 各組織の活動について

総会(5/9)において、県学習指導改善調査事業協力校(裏館小1年次)の取組について報告し、授業改善の方策を探る。

各教科,道徳,外国語活動,特別活動,総合的な学習の時間,学校保健,特別支援教育の15部門に分かれて研修を深める。2回の一斉研修日を設定した(6/24,9/28)。内容は授業研究,講演会,実技講習会,レポート協議,教材研究等である。

(3) 研究刊行物について

各部活動報告の集録を作成し、各校に配付する。

(4) その他

科学研究発表交歓会(10/6 於：中央公民館)を市教育委員会（理科教育センター）との共催で行う。

3 市小教研が関係した研究会

学校指定の研究会は実施せず、部会ごとに授業研究等を行っている。

<後援をした研究会>

中越社会科研究会三条集会 11月25日（金） 於：裏館小学校